

Koka TIMES

— 心を磨き、技を極め、夢に挑む —



3時間耐久レース

地域と連携した実践型教育 3時間耐久レースで優勝

- 3次元CAD利用技術者試験で全国1位の成績
- 実習車両の寄贈
- 各センターからのお知らせ
- 2024年度(前期)行事予定表
- 実践的整備士の育成

編集/発行

愛知工科大学
愛知工科大学自動車短期大学
入試広報センター

〒443-0047
愛知県蒲郡市西迫町馬乗 50-2
TEL. 0533-68-1135
URL. <https://www.aut.ac.jp/>



地域と連携した実践型教育 問題解決を担うエンジニアの育成

地域振興プログラム

行政の課題について 学生が解決案を提案

1月19日(金)、行政の課題に対する解決案を8グループが発表し、審査が行われました。

検討するにあたり、ユーザーのニーズを把握するためのアンケート調査やヒアリングの実施が奨励され、受講生は調査の結果を踏まえ、工学技術やアイデアを取り入れたモックアップを製作しました。

審査の結果「ハザードマップDX計画」が1位となりました。「ハザードマップDX計画」は、情報メディア学科4年生嶋添竜一さんのグループが「自分たちの

「地域振興プログラム」は本学で行われているPBL(問題解決型学習)のひとつで、1年生から4年生まで学年・学科の枠を超えて履修することができます。本学が所在する蒲郡市および幸田町と連携し、行政で困っている課題の解決案を、IoTやAI、自動運転、VR、次世代ロボットなど、未来の工学的視点からグループで検討・発表・提案するものです。

持つ技術で視認性をよくし、災害時にいち早く避難所を確認できるようにしたい」と考え取り組んだものです。幸田町防災安全課へヒアリングを行いWebサイトを構築しました。

構築したWebサイトの機能は、区域別に避難所を調べることができ、ボタンを押すことで避難所までの道のりをGoogleマップと連動して案内します。発表後には、デモサイトを実際に使ってもらいました。

審査員の幸田町企画政策課職員からは

「アイデアや着眼点がチームごとに異なり、公共交通ひとつにしてもさまざまな解決策が出てきて、楽しめるとともに考え方について参考になりました。」と感想をいただきました。

発表テーマ

1. 幸田町における公共交通の利便性を高め利用者を増やす(幸田町)
2. 誰でも使える公共交通機関の接続性向上を目指して(幸田町)
3. 幸田町のお絵描き BusLife~多世代交流を目指して~(幸田町)
4. 地域バスの活性化(幸田町)
5. ハザードマップDX計画(幸田町)
6. 蒲郡市の今後について(蒲郡市)
7. コンポスター(蒲郡市)
8. サーキュラーエコノミーを知ってもらうためには(蒲郡市)

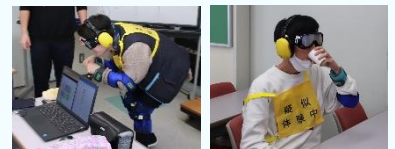


社会学 介護問題の解決案を考える

社会学の第9・10回目の授業では、国民の4人に1人が75歳以上という超高齢化社会に突入することで、さまざまな問題が生じる「2025年問題」について考えました。

第9回では、高齢者疑似体験セットを身につけ、階段の上り下りやコップで水を飲むなど、高齢者の状態を体験しました。第10回では、蒲郡市のデイサービス大倅の増山大祐さんに介護現場の実情についてお話を伺いました。

また、「自分の身体が半身麻痺になったら?」とのテーマでディスカッションを行い、簡単な腰痛改善運動なども体験。社会の問題を自分ごととして考え、介護問題を身近に感じられる授業となりました。



設計開発におけるヒューマンファクター 庁舎内の案内看板デザインを提案

11月29日(水)、蒲郡市役所行政課の職員の方にお越しいただき、現在の案内看板についての問題点や新しい看板の仕様について説明いただきました。その後、学生が市役所へ行き、改善点を探したうえで視覚認知特性や人間中心設計の理論を活かし、グループごとに多様

性に配慮した案内看板を設計しました。

1月10日(水)、ユニバーサルデザインとアクセシブルデザインを考慮した斬新で効果的なデザインの提案がされました。蒲郡市行政課からは「柔らかな発想や参考になる提案が多く、予算やデザインを検討する」との意向が示されました。



電子ロボット工学科の学生が小学生を指導 ロボットプログラミング体験授業を開催

12月13日(水)、電子ロボット工学科の学生6名が蒲郡南部小学校6年生に対してロボットプログラミングの体験授業を行いました。

この日の授業では、Scratchと呼ばれる

プログラミング言語を用い、学生が考案したカリキュラムで実施されました。

子供たちはロボットを動かしながら、楽しくプログラミングのしぐみを学びました。



IoT・AI エンジニアリングコース 自治体の課題に挑み成果を発表

1月15日(月)、IoT・AI エンジニアリングコース3年生「IoT・AI 実践実習」の発表会が行われました。

コースでは、学んだ知識・技術を実践し、課題に取り組みます。今年度は地元行政の課題を検討し、システムの提案、試作品の設計・開発を行いました。

発表会では、自治体関係者にも参加いただき、システムの実演も行いました。



今年度のテーマ

- テーマ1 「住宅用火災報知器の異常・電池切れの状態・通知システム」(幸田町)
 - 火災検知や電池寿命をオンラインで通知・確認できるようにした火災報知器を開発
- テーマ2 「公共施設の遠隔施錠システム」(幸田町)
 - スマートロックと連動することで施設の施錠管理を自動化した施設予約システムを開発
- テーマ3 「駐車場混雑状況の把握システム」(蒲郡市)
 - カメラの映像をAIで解析して駐車場内の台数を把握し、オンラインで混雑状況を確認できるようにしたシステム
- テーマ4 「悪臭問題に対応するための臭気レベル計測システム」(蒲郡市)
 - 悪臭となる臭気を検知して、そのレベルを表示する簡易計測器を開発

蒲郡港で車両搬送ロボット実証試験を見学

2月21日(水)、蒲郡港で行われている三菱重工機械システム株式会社による車両搬送ロボット用いた完成車自動搬送実証試験を、情報メディア学科久徳研究室の学生が見学しました。

蒲郡港は完成自動車の輸出を行う貿易

港で、カーボンニュートラルポートの実現や人手不足の解決を目指しています。

実証試験では、ふたつの車両搬送ロボットが譲りあいながら動作する様子や管理システム画面などを見せていただきました。また、自動運転システム搭載の車

両搬送ロボットの搭載センサや動作フロー、搬送可能車両に関してご説明いただき、学生の質問にもお答えいただきました。

学生は最新の技術を感じることができるとも貴重な見学となりました。

学生チーム 3時間耐久レースで優勝

9月17日(日)、愛知県蒲郡市のスパ西浦モーターパークにおいて、レインボーカラーズ耐久シリーズ2023の第4戦3時間耐久が開催されました。

本学からK-ST(学生対抗)クラスに1台、K-NN(ノーマル・一般)クラスに1台がエントリー。レースはGT(乗用車)とK(軽自動車)の34台混走で行われました。

耐久レースは速さだけでなく、ドライバー、ピット、サインボードなど、チーム一丸にならないと完走できない過酷なものです。

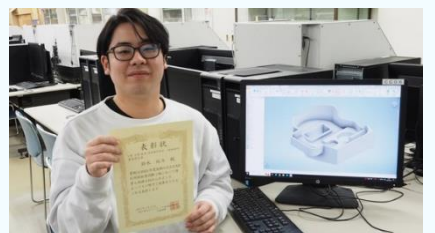
結果は、K-STクラス優勝、K-NNクラス7位。コミュニケーションを取ながら同じ意識を持つことで、学生同士の絆も深まり、有意義なレースとなりました。



全国1位の成績で合格!

2023年度後期3次元CAD利用技術者試験1級で、機械システム工学科3年生鈴木裕斗さんが大学/短大/高等専門学校で全国1位の成績をおさめました。今回、この部門の全国受験者は266人で68人が合格(合格率25.6%)。

その中で成績トップの鈴木さんは、解法を導き出すための思考力とモデリング技術を特に意識して勉強を重ね、努力を惜しみませんでした。実践的な力を身につけるため、積極的に参加したインターシップも大きく寄与したようです。



卒業生が活躍

マツダサービス技術ユース大会 優勝、準優勝、4位

第12回マツダサービス技術ユース大会において、日比篤さん(2020年卒業)が全国優勝、下田代希里さん(2020年卒業)が準優勝、清水拓一郎さん(2018年卒業)が4位と、卒業生が快挙を成し遂げました。

マツダサービス技術ユース大会とは、入社3年以内の若手エンジニアスタッフが競う全国大会です。学科による一次審査と二次審査があり、全国成績上位18名が本選に進めます。本選では、実技審査により1~5位が表彰されました。



企業とともに実践的な整備士の育成

自動車メーカー講演会 12社が自社の魅力をアピール

9月19日(火)~21日(木)の3日間、短期大学自動車工業学科の1年生を対象とした「自動車メーカー講演会」が行われました。

国内自動車メーカー12社より担当者にお越しいただき、自社のクルマづくりへの想いや最新技術の紹介、社風などについてご講演いただきました。

講演を聞いた学生からは、「それぞれの会社の目標や未来への意気込みが知れてよかった」「今度はぜひ会社見学に行きたい」との声が聞かれました。



いすゞ自動車株式会社	スズキ株式会社	株式会社 SUBARU
ダイハツ工業株式会社	トヨタ自動車株式会社	日産自動車株式会社
本田技研工業株式会社	マツダ株式会社	三菱自動車工業株式会社
三菱ふそうトラック・バス株式会社	UDトラックス株式会社	

CS講演会 販売会社からCSの重要性を学ぶ

10月20日(金)、短期大学自動車工業学科1年生を対象に愛技会(後援会)主催の「CS講演会」を行いました。

CSとはCustomer Satisfactionの略称で、自社の商品やサービスに対して顧客がどれくらい満足しているかを示すもので別名、顧客満足度とも呼ばれています。今回は愛技会会長を務められている東海マツダ販売株式会社から講師をお招きし、

「CSについて考える~今、なぜCS活動が必要か~」というタイトルで、将来、サービススタッフに必要な資質について講演いただきました。

学生からは、「技術だけでなく、人間としても信頼されるように努力したい」「CSを高めることは自分自身も磨くことができると思った」といった感想が聞かれました。

トヨタカラー愛知株式会社より 実習車両の寄贈

1月19日(金)、短期大学自動車工業学科の学生の整備技術向上のため、トヨタカラー愛知株式会社から実習用車両が寄贈され、本学・自動車棟で寄贈式が行われました。寄贈された車両は、リチウムイオンバッテリーを搭載したトヨタのZVM51型プリウスです。本学では50系プリウスがこの車両を入れて4台となり、ハイブリッド車両整備や自動運転に関する構造の学習などが、より一層充実することとなりました。なお、寄贈式にはトヨタカラー愛知株式会社の野崎孝代表取締役社長のほか関係者が出席され、大西正敏学長から感謝状が贈られました。



自動運転概論 EyeSight X

11月2日(木)、短期大学自動車工業学科の「自動運転概論」最終講義では、名古屋スバル自動車株式会社により、新世代アイサイト「EyeSightX」の新技術を中心とした内容で講義いただきました。車両を用いた車線逸脱制御機能の体験やエーミング実習などが行われ、学生は多くの最新技術に触れることができました。



輸入車講習会 アウディ フォルクスワーゲン

10月10日(火)工学部機械システム工学科1級自動車整備士養成課程3年生を対象にADWホールディングス株式会社から講師を招き、輸入車講習会を開きました。アウディA8、RS e-tronGT、フォルクスワーゲンID.4を使い、EV車のモーターやトランスミッションの解説と実車での講習を行っていただきました。





INFORMATION

お知らせ

学務課

奨学金制度のご案内

本学では、次の奨学金制度を取りあつかっています。希望される方は、学務課までお気軽にご相談ください。

なお、4月のオリエンテーション期間中に説明会を実施します。希望する学生は必ず参加してください。

■授業料免除制度

【申請受付 前期：4月上旬、後期：9月中旬～10月上旬】

次のいずれかの要件や別に定める家計基準を満たし審査により認められた場合、その期の授業料の半額または全額を免除します。

- ①原則として日本学生支援機構等の奨学金を受給していない学生で、経済的理由により、授業料の納付が困難で、成績が良好な者。
- ②授業料等を主として負担している者が死亡や疾病により入院し、授業料の納付が困難な者。
- ③学生もしくは学費負担者が、地震または風水害等の災害を受け、授業料の納付が困難な者。

■教育ローン利子補給奨学金制度

【申請受付 12月上旬～1月中旬】

次のすべての要件に該当する者で、審査により認められた場合、1年間に支払った利子相当額を本学が補給します。

- ①金融機関の教育(学資)ローンで授業料相当額の融資を受けている者。
- ②日本学生支援機構やその他の機関等から奨学金を受けていない者。

■日本学生支援機構奨学金制度

【申請受付 4月上旬、9月上旬】

日本学生支援機構の推薦基準(学力・家計)により選考され、月額2万円～15万円の設定金額(条件により範囲は異なる)から選択した金額の貸与を受けることができます。貸与された奨学金は、卒業後に所定の方法で返済することになります。

■高等教育の修学支援制度

【申請受付 4月上旬、9月上旬】

「給付型奨学金(返済が不要)」と「授業料の免除(授業料の免除または減額)」の2つの支援があり、日本学生支援機構の推薦基準(学力・家計)により選考されます。

本学においては、授業料等をいったん全額納入していただき、後日、減免相当額を還付させていただきます。

2024年4月より、高等教育修学支援制度の支援対象が拡充!!

多子世帯(扶養人数が3人以上)および理工農系学部生で、世帯の年収額の基準が、世帯年収600万円程度までに拡大します。

※日本学生支援機構のホームページの「進学資金シミュレーター」により、給付や貸与の額がどの程度になるか調べることができます。

■その他の学費サポート制度

- ・学費サポートプラン
(株)オリエントコーポレーションとの提携による教育ローン制度
- ・セディナ学費ローン
(株)セディナとの提携による教育ローン制度

※お問い合わせ・申し込みは各社の問い合わせ窓口へお願いします。

事務局

■新しい空調設備で快適な環境づくり

2023年8月に2号館、2024年2月から3月にかけて1号館の空調設備および照明設備の改修工事を行いました。

照明設備はLED照明に変更し、空調設備は、温度設定が細かくできる最新のものに変更しました。

また、短大学生ホールにも空調設備を設置し、暑い時期でも寒い時期でも快適な学生生活が送れる環境を整えました。



■回廊部にスロープ設置

6号館から4号館へ向かう回廊部の階段にスロープを設置しました。バリアフリーに対応し、車いすも通行できるように改善しました。

■講義室の 프로젝タを更新

7号館の7つの講義室(7202室、7203室、7208室、7302室、7306室、7307室、7402室)の 프로젝タを更新しました。

さらに、AUTホールの 프로젝タも更新しました。講演会やオープンキャンパス、講義における発表会などで使用されています。

■スクールバスの運行について

2024年4月より大学発スクールバスのダイヤが変更されます。

また、3月まで運行していましたJR三ヶ根駅発の便を蒲郡駅発に振り替えます。講義終了後の大学発のバスは、15時台に4便、17時台に4便あります。詳しくは、ホームページで確認してください。



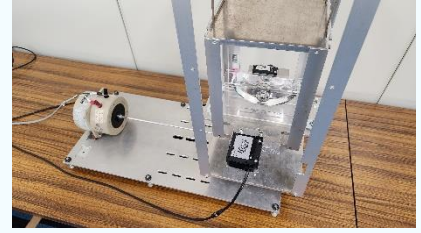
<https://www.aut.ac.jp/access/>

ものづくり工作センター

当センターの主要業務のひとつは卒業研究のサポートです。今年度の正月に発生した能登半島地震では建造物に甚大な被害が出ましたが、この原因のひとつとして共振現象があげられます。本学の機械システム工学科村上研究室では、

振動解析の研究を専門に行っており、東南海地震対策として建造物の振動制御に関する先駆的な研究も行っています。

右の写真は、村上研究室で設計し、当センターで製作した振動解析用の実験装置です。



メディア基盤センター

メディア基盤センターでは、学内の情報通信環境を改善するため計画的に設備更新をしています。今年度は、6号館1階にあるCAD/CAM実習室に設置されているワークステーション51台を最新機種に入れ替えました。設置したワークステーションには、新たに環境

復元ソフトウェアを導入して共通で利用するアプリケーション環境が起動ごとに最適化されます。さらにインターネット回線、6号館、7号館の基幹ネットワークを10Gbpsに高速化しました。

また、キャンパス全体に設置されている無線アクセスポイントの旧機種を

最新機種へ入れ替え、ノートパソコンやモバイル端末の接続状況を改善しています。

次年度以降もキャンパス全体の10Gbps化を推進する計画を立て、教育・研究での活用を促進していきます。

総合教育センター

■入学生の工場見学を再開

初年次教育部門では、1年生対象「AUT教育入門」の内容を検討しました。2023年度は「バーチャル工場見学」でしたが、2024年度はコロナ禍前の状態に戻し、実地での工場見学を行います。

モノづくりの現場を見学することで、

求められるスキルや課題への理解を深め、これからの学びに役立てます。

■留学生支援を強化

留学生が専門科目もスムーズに取り組めるよう日本語教育を見直しました。「工学教養講座」などの科目を導入し、

新しい体制で取り組んでいきます。

■授業の空き時間を活用できます

基礎教育部門では、学生の希望に応じて課外指導を行っています。課外指導を希望する学生は、いつでも気軽に総合教育センターへご相談ください。

図書館

■新着書籍の紹介① TOEIC 問題集

本学ではTOEIC受験が推奨されており、授業でも「TOEIC」が開講されています。今回、授業の復習や得点アップを目指すための問題集を各種揃えました。リスニングやリーディングの勉強におすすめの1冊は『公式TOEIC Listening & Reading 問題集』です。新たに問題集の7～10が

入りました。この他に試験頻出フレーズを勉強できる『TOEIC L&R TEST 出る単特急金のフレーズ』などがあります。

■新着本の紹介② プログラミング英語

各学科ではプログラミングの授業が開講されています。しかし「プログラミングで使用する英単語が苦手だ」という

声もよく聞きます。そのような方には『プログラミング英語教本』や、『[コードの気持ちができる！]プログラミングの英単語一入門で挫折しないための必須単語150』がおすすめです。

勉強に必要な英語の書籍は多数図書館にあります。ぜひ手に取ってみてください。

キャリアセンター

2月26日（月）～28日（水）の3日間、工学部2年生・3年生および修士1年生を対象とした学内合同企業研究会を開催しました。参加企業は163社。多数の学生が参加し、盛況裡に幕を閉じました。

夏期インターンシップや1day 仕事体験に参加したことがきっかけで、早期

選考に進んだ学生も多く、なかには内々定を獲得した者もありました。企業側からは少子化の時代に人材確保するため、早期に学生を繋なぎ留めたいという意思が年々強く感じられます。しかし、学生にとっては、これから続くキャリアの第一歩ともいえる新卒入社です。自己分析・業界研究・企業研究を重ね、自分が

納得できる進路決定ができるよう、キャリアセンターは学生の支援を続けていきます。

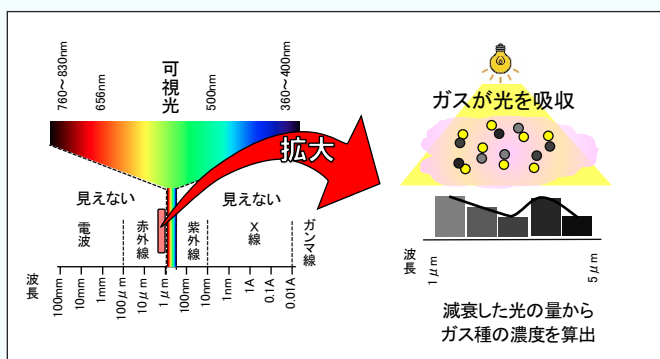
また、短期大学では12月初旬に自動車整備士を目指す1年生対象の学内企業説明会を開催しました。自動車販売会社をはじめ、自動車メーカー・部品メーカーなどに進路を決定しています。

研究室訪問

— 電子ロボット工学科 藪下研究室 —

本研究室は2023年9月に発足したばかりの新しい研究室です。私はこれまで化学系の教育・研究に携わってきました。本学では電子ロボット工学科に所属し、新しい分野に挑戦する機会を与えていただきました。この半年間は、ロボット系の講義・演習の予習と資料準備などであつという間でした。来年度からはじめての卒業研究生が配属となるため、現在はその環境を整えることに注力しています。卒業研究は大学においてのみ行うことができる高度に知的な活動であり、学生の人格形成にも影響を及ぼす場です。技術職、研究開発職など、専門性の高い職業に就くほど卒業研究は意義深いと考えます。これまでとは専門分野が異なるため、以前のような化学系の卒業研究テーマを継続することはできません。そこで新しく準備中の卒業研究テーマについて紹介します。

光を用いたガス分析装置の開発を行いたいと考えています。分析装置の開発にあたっては、機械設計・工作、電気・電子回路設計・工作、情報工学の知識・経験が必要となり、まさに電子ロボット工学科での3年生までの学びの集大成としてふさわしいと考えたからです。原理については、物理化学(分光化学)の知識が必要です。気体は特定の波長の光を吸収するので、測定したいガス種が吸収する波長の光を照射して、減衰した光の量からガス種の濃度を算出することができます。光には赤外、可視、紫外などさまざまな波長域があり、多種多様な光源が販売されています。近年、中赤外域(2.5 μm ～)のLight Emitting Diode (LED)が安価に入手できるようになってきました。ガス種によっては中赤外域の光吸収は強いいため、感度を高くできるメリットがあります。また軽量で消費電力も少ないため持ち運びできる装置をつくれます。現在、近赤外も含めて1~5 μm 程度のLEDが販売されているので、波長を選択することでブタン、ホルムアルデヒド、エタン、ギ酸、一酸化炭素、二酸化炭素、プロパン、グルコース、メタン、水などのガス種が計測できる可能性があります。



社会的にも関心の高い事柄を視野にとらえた科学・技術の発展が大学教育には必要であると考えています。またその方が学生も興味を持って取り組んでくれると期待します。そこで来年度は、地球温暖化と関わりの深い二酸化炭素濃度計測

Profile

藪下 彰啓
教授・博士(工学)



[専門] 物理化学/環境化学
宇宙化学/分析化学
[経歴] 宇宙開発事業団
(株)堀場製作所
京都大学、九州大学

装置の開発を卒業研究のテーマにします。気候変動に関する政府間パネル(IPCC)の第6次評価報告書によると、産業革命前と比べて2019年までに1.06°C上昇したと記されており、主要因のひとつとして二酸化炭素があげられています。^[1]

装置が完成した暁には、学生による工学教育・環境教育の出前授業を行ってみたいと考えています。子供達や専門外の人にわかりやすく説明するためにはどうしたらよいか考え工夫する大切さを知ってもらい、その技術を身につけてもらうためです。出前授業でデモンストレーションを行うためのキットの製作も卒業研究のテーマとして考えています。例えば、植物に光を照射しているときとしていないときの二酸化炭素濃度を計測して植物の呼吸と光合成を観察したり、二酸化炭素濃度の異なる気体の入った筒を複数個用意して赤外光を照射して温度上昇率の変化を観察したりするキットの製作です。植物と動物両方の性質をもった微細藻類であるミドリムシの呼吸と光合成の環境条件依存について調べるキット製作もおもしろいかも知れません。学生の発想力に期待しています。

ロボットについての卒業研究テーマについても考えています。化学の知識を活かしてつくる材料を用いたロボット製作について構想しています。まだ具体的に決まっていますが、材料について来年度から基礎的な実験を開始できればと準備しており、少しずつ研究物品もそろいつつあります。4月から学生と一緒に研究活動を楽しみ、卒業研究を通じて社会で即戦力となる技術者、研究開発者を育てていきます。

私自身はこれまで、レーザーなどの光を利用して、飛行時間型質量分析法や超長距離吸収分光法などを利用した実験装置を用いて研究を行ってきました。特に、氷、水、微粒子(PM_{2.5}など)の表面やバルクで起こる化学反応機構の解明に取り組んできました。得られた研究成果は、海洋や極域での大気化学反応、越境大気汚染、宇宙での化学進化などと関連が深いです。今後も、新しい分析装置の開発や、環境化学、宇宙化学に関わる新しい研究テーマに取り組んでいきます。

研究内容に興味があれば連絡をさせていただくか、研究室を訪問していただければ幸いです。

[1] <https://www.ipcc.ch/report/sixth-assessment-report-cycle/>

e-mail: yabushita-akihiro@aut.ac.jp

2024年度(前期) 行事予定表 (4月~9月)

※学内における諸事情などにより、予定を変更することがあります。

大学

月	行事	日程
4月	入学式	2日(火)
	オリエンテーション	3日(水)~9日(火)
	編入学認定申請	4日(木)
	健康診断	4日(木)、5日(金)
	履修登録	5日(金)
	通学車両検査(1年を除く)	13日(土)
	学修奨学金授与式	19日(金)
	留学生とのつどい	26日(金)
5月	社会研修(工場見学)	15日(水)
6月		
7月		
8月	定期試験	1日(木)~9日(金)
	夏期休業	10日(土)~
9月	オリエンテーション・履修登録	10日(火)~12日(木)

短期大学

月	行事	日程
4月	入学式	2日(火)
	オリエンテーション(1年)	3日(水)~5日(金)
	健康診断(1年)	4日(木)
	健康診断(2年)	5日(金)
	オリエンテーション(2年)	5日(金)
	2年 就職活動調査	5日(金)
	実習ガイダンス	8日(月)
	通学車両検査(1年を除く)	13日(土)
	学修奨学金授与式	19日(金)
	留学生とのつどい	26日(金)
5月	大学編入学 進学説明会	7日(火)
6月	就職活動調査(2年)	14日(金)
7月	定期試験	24日(水)~31日(水)
8月	成績発表・選択科目履修登録	2日(金)
	夏期休業	10日(土)~
9月	オリエンテーション(2年)	2日(月)
	ビジネスマナー講演会(2年)	2日(月)
	就職活動調査(2年)	2日(月)
	オリエンテーション(1年)	12日(木)
	総合就職実力模試(1年)	12日(木)
	就職ガイダンス(1年)	13日(金)
	自動車メーカー講演会(1年)	17日(火)~19日(木)

大学院

月	行事	日程
4月	入学式	2日(火)
	オリエンテーション(1年)	2日(火)
	オリエンテーション(2年)	8日(月)
	健康診断	4日(木)
	履修登録	4日(木)
	就職活動調査	4日(木)
	通学車両検査	13日(土)
留学生とのつどい	26日(金)	
5月	博士前期課程 履修・研究計画書提出	24日(金)
	博士後期課程 研究計画書提出	24日(金)
6月		
7月		
8月	夏期休業	10日(土)~
	オリエンテーション・履修登録	13日(金)
9月		

TikTokでキャンパスの様子を配信しています

アプリをインストールしなくても見るができます

TikTok 愛知工科大学

TikTok 愛知工科大学自動車短期大学

